

すし詰め状態の電車に乗って
わたしは学校に向かいます。

裕福な家に生まれた娘、
そして入試に合格した
優秀な女子しか通えない
由緒ある名門女学院。

そんなエリート女子校の
制服を着て電車に乗り込むと、
濁った空気の中内でも
晴れ晴れとした気分になります。

……そう、いつもなら。
そして今日もそうなるはずでした。

だけど今は憂鬱です。
それにとってもイライラします。
悔しくて、腹立たしくて、納得がいきません。

だって、わたしは今……
薄汚く卑劣な犯罪者に囲まれているからです。

どうしてこんなことになったのか。

——答えは簡単です。

キチガイに目を付けられたからです。

電車内で幾度となく『正しいこと』をしたわたしは、その詳細をSNSでフォロワーに報告しました。

すると頭のおかしな人が「犯罪自慢だ」と騒ぎ出し、SNSの過去ログやフォロワーの発言からわたしの住所や本名、学校名などを特定し、まとめと称してネット上に書き立てました。

それを見た暇なキチガイ達が今、わたしの周りに立っています。

逃げることはできません。

声を出すこともできません。

相手はキチガイ、しかも複数です。

怒らせたら何をされるか……。

わたしは……

ひゅうがさくら
日向千花はエリートです。

江戸時代から代々続く
医師の家系に生まれた娘。
それがわたし、日向千花です。

わたしの生まれた日向家は
藩医として殿様に仕えた名家です。
そして日向家に生まれた者は
医師になることになっています。

でも、わたしの兄と弟は……
「今はそういう時代じゃない」と言っ
自分のやりたい仕事に就こうとしています。

父方のいとこの家の子も皆、
だいたいそういう感じ
日向家で医大を目指しているのは
わたし、千花だけです。

子供の頃からわたしは
軽んじられてきました。

「千花は女、結婚して子供を産めば
医師の仕事は続けられない、
だからこの子には期待しない」

祖父母にも親戚のおじさんにも
そう言われ続けてきました。
両親もその言葉を否定せず、
一緒になって笑っていました。

だけどわたしは兄や弟が遊んでいる間も勉強し、
医大現役合格確実と言われるまでの成績と
高い偏差値を叩き出しました。

わたしはエリートです。
血筋と努力を兼ね備えた本物のエリートです。
キチガイなんか……ゴミオスなんか……
人生を台無しにされるわけにはいきません。

なのに……
そのはずなのに……
今のわたしは無力です。

わたしに犯罪者のレッテルを貼り、
悪質なストーカー行為を繰り返し、
わたしの人生を台無しにしかねない
キチガイやゴミオスどもに対して
何もできずにいるのです。

目の前にも……
すぐ後ろにも……

横にもその向こうにも……
あいつらが立っているのに。

一刻も早く……自分の手で……
解決しなければならぬのに。

わたしは特別な人間です。
日向千花はエリートです。

家柄の良さに胡坐をかかず
日向家に恥じない医師になれるよう
みんなが遊んでいるときも
一人で勉強してきました。

嫌なことを言われても
いつも我慢してきました。

わたしは特別。わたしはエリート。
わたしを取り囲んでいる
ゴミオスなんかとは違います。

そんなわたしの人生を
台無しにされるわけにはいきません。

わたしにはわたしひとりの力で
守らなければならぬものがあります。

だからわたしは動けません。
なのにわたしは動けません。

目の前に差し出された端末は
わたしの持っていたスマホです。
わたしの名前で契約された
わたしの使っているスマホです。

そんなスマホをわたしから奪い
ゴミオスが勝手に触っています。

それでもわたしは動けません。
声ひとつ上げることができません。

逆らった結果、逆上させたら……
わたしはわたしの人生を
守らなければならぬのです。

スマホには見慣れた画面が映っています。
学校の友達と繋がっているSNSの画面です。

本来ならばログイン用の
パスワードが必要になる画面。

だけどわたしはログインパスを
アプリに記憶させています。

だからアプリを立ち上げただけで
自動的にログイン状態になるのです。
わたしが操作したわけじゃなくても。

そして今、SNSのアプリは
投稿用の画面になっています。

ゴミオスの打ち込んだ妄言が
わたし自身の発言として
書き込まれようとしています。

……ッ！

『わたくし日向千花は痴漢でっち上げの罪で
恥辱のおまんこ制裁を受けることになりました。
その様子を今から動画で生配信します』

『わたしが今からされることは犯罪ではありません。
犯罪者はわたしです。だからおまんこ制裁を受けます。
生配信の内容は全て合意の上で行われることです。
おまんこ制裁を受けるわたしの姿を見てください』

——SNSの投稿欄にはそう記されていました。

ゴミオスの指が動きます。
投稿ボタンをタップします。

ゴミオスの卑猥な妄想、卑劣なゴミオスの妄言が
わたし自身の発言としてSNSに投稿されます。

やめて。みんなが見てるのに。

わたしは『おまんこ』なんていう
気持ち悪い言葉は使わない。
まんこに『お』を付けるなんて
上品ぶってて気持ち悪い。

それにわたしは犯罪者じゃない。
痴漢でっち上げなんてしてない。

わたしはただ――

今にも痴漢行為に及びそうな人がいたから痴漢として警察に突き出してあげただけ。

警察は被害者が出てからじゃないと動けない。だからエリートわたしが警察の代わりになって近い未来に痴漢行為を働く人を検挙して社会正義や社会秩序を守ってあげただけ。

だって……わたしには一目でわかったから。物欲しそうな目つきでわたしの胸をジロジロ見て。痴漢どころかストーカーや強姦魔のようなキモさ。

あんな目でわたしを見るなんて性犯罪者に決まってる。だから被害が拡大する前に痴漢として通報した。相手が不快に思えばセクハラ。電車内でのセクハラは痴漢。わたしはとて不愉快だった。あいつの目つきは痴漢行為。

そしてそんなゴミオスは一人や二人ではありません。

わたしは電車に乗っていると胸をジロジロ見られます。いかにもゴミオスという感じの気持ち悪いおじさんに。

そんなことがある度にわたしはそのおじさんを痴漢として捕まえて駅員に突き出してきました。

示談金を受け取って話をつけたことありますが、わたしは富裕層の娘、お金目当てではありません。

性犯罪者に軍資金を持たせてはいけないのでわたしが代わりに所有して管理してあげただけです。

わたしは社会の秩序を守った。わたしは正しいことをした。エリートとして当然のことをした。だからSNSで下々の者に報告しました。

そしたらわたしのしたことを
痴漢冤罪、痴漢でっち上げだと
言い出す狂人が現れました。

そしてわたしに対する悪質な
誹謗中傷を始めました。

狂人はゴミを漁るようにSNSのログを掘り、
わたしの本名や学校名、自宅住所を特定し、
大勢の人に呼びかけて通学時間に待ち伏せし、
こうしてつきまとってきています。

おかしいのはどちらなのか……
間違っているのはどちらなのか……
そんなこと、誰の目にも明らかです。

犯罪者はこいつらです。
わたしは被害者、潔白です。

こんなこと、許されません。

世のため人のために
正しいことをしたわたしが
誹謗中傷やストーリーカー行為の
被害を受けるなんて。

しかもスマホを奪われて……
スマホを勝手に使われて……
わたしの名前でSNSアカウントに
卑猥なことを書き込まれるなんて。

こんなこと、許されません。
こいつらは死刑になるべきです。
今すぐ死刑になるべきです。

え……
なに……？

今……
何をしたの？

わたしのスマホを
勝手にいじって……
動画配信アプリを
起動して……

そんなことをして一体
何をするつもり……

——とても嫌な予感がします。
先ほど書き込まれた言葉の数々……
動画で生配信、わたしの姿を見てくださいます。
そんな言葉の数々が脳裏を行き来します。

——彼らのしよとうとしていていることを
即座に理解することはできませんでした。

信じられなかったのです。
まさかここまで非常識な
犯罪者がいるなんて。

……いえ、そうではありません。
受け入れたくなかったのです。
上級国民であるはずのわたしが
犯罪者の好き勝手にされるなんて。

こいつらは……
今このときのわたしの様子を
わたしのスマホで撮影し……

わたし名義のSNSを經由して
生中継しようとしています。
それも静止画ではなく動画で……。

……それだけではありません。

この卑劣な犯罪者どもは
わたしのSNSアカウントに
動画のアドレスを書き込んで……

わたしのフォロワー全員に
今のわたしのこの姿を
見せようとしているのです。

そのアカウントは狂人の手で
痴漢でっち上げ女の汚名を着せられた
炎上済みのアカウントです。

悪意でわたしをフォローするような
異常者も大勢見えています。

悔しくて仕方がありません。
でもこいつらの犯行は
更にエスカレートしていきます。

—男が取り出したものは
わたしの生徒手帳でした。

今日、この電車に乗る前に
スマホと一緒に奪われたもの。

な……
そんな……

わたしの顔写真の付いた
学校名入りの生徒手帳を
毛むくじやらの薄汚い手が
カメラの前にかざします。

動画に映っている女子校生が
本物のわたしであることを
知らしめようとするように……

顔写真入りの生徒手帳には、わたしの自宅住所や生年月日、在籍番号が記載されています。

また、別のページには、定期券を買う際に使う通学証明書欄があり、自宅や学校の最寄り駅が記載されています。

毛むくじやらの汚い指が名門女子校の生徒手帳を乱暴にめくりまわす。

そしてわたしのスマホのカメラが通学証明書の記載事項をわたしの姿と共に収めます。全世界に公開するため。

……こんなことまでされているのに正しいことをしたはずのわたしは嘔き声の一つも上げることができません。

そんな無力なわたしに向かって薄汚い手が伸びてきます。

ビクッ

いや……
な、なに……

触らないで……
痴漢は犯罪……
犯罪なんだから！

ギョウウツ

嫌よこんな……
勝手に触らないで！

わたしはエリートなの！
特別な人間なの！

犯罪者が触っていいような……
犯罪者にしか相手にされないような
そこらのブスどもとは違うの！

だからやめて……
こんな……

アツッ
アツッ

せわっ
っ

——まるで虫が体じゅうを這い回っているかのようでした。

ビクッ

う……

うああ……
気持ち悪い……

ムギッ
ムギッ
ムギッ

搾るように乱暴におっぱいを掴む手も
感触を確かめるように揉みしだく別の手も
後ろからお尻の割れ目を前後になぞる指も
円を描くように太腿を撫で回す大きな手も
指先だけで太腿に触れる別の手も……

わたしの意思に反する形で
わたしに触れるすべての手、
そして電車の騒音の中でも
かき消されることのない息遣い。

ゴミアスどものすること全てが
気持ち悪くて仕方ありません。

どうしてわたしがこんなこと
されなきゃいけないの……

わたしは……わたしは……

んくッー!

あ……ああ……
声が出ちゃった……

でもこれくらいの呻き声なら
誰も何とも思わないはず……

い、痛い……

パンツが……
わ、割れ目に……
食い込んで……

それに……

悪いのは声を出したわたしじゃない。
こんな……こんなことをする……
頭のおかしなゴミオスだから……

あ……ああ……
パンツ……そんな……
引っ張らないで……

はみ出してる……
恥ずかしい……
肉が……

目で確認できなくても
肌を感じる感覚だけで
自分の股間がどうなっ
ているのかわかります。

引っ張られて細くなったパンツが
恥ずかしい割れ目に食い込んで
見られてはいけなはずの肉が
はみ出してしまったこと。

こんなの嫌。恥ずかしくきる。
みんなに見られてるのに……

わたし名義のSNSアカウント……
裏アカじゃないSNSアカウントに
動画のアドレスが貼られているのに！

しかも……
わたしの生徒手帳まで
事前に公開されているのに！

わたしの名前や生年月日や
自宅の住所や学校名や
最寄りの駅が記載されている
生徒手帳が映った動画に
こんな……こんな……

こんな……恥ずかしくて……
いやらしい映像が入るなんて……

嫌……こんな嫌……
こんなわたしじゃない……

こんな卑猥なことをされて
黙って動画に撮られているような
恥ずかしい女はわたしじゃない！

卑猥……
そう、卑猥すぎる……

パンツの脇から恥ずかしい肉が
はみ出してるだけじゃない。

こんなにぴったりパンツを割れ目に
密着させられたりしたら……
恥ずかしい形だってくっつきりと
浮かび上がってるはず……

嫌。見られたくない。
恥ずかしい。それもあるけど……
わたしが一番気にしているのは
恥ずかしいとかそんなことじゃない。

わたしはエリート。特別な人間。
エリートは卑猥な存在じゃない。

卑猥な格好なんてしないし
そもそもエリートの体には
卑猥なモノなんて付いていない。
なのに、こんな――

—頭がおかしくなりそうでした。
こんな卑猥な姿を動画に撮られて
SNSで公開されるなんて……

しかも個人情報をすべて
公開されたあとで……

これが……こんなことが……
『おまんこ制裁』なのでしょいか？
こんな卑猥で卑劣なことをこいつらは
制裁と呼んでいるのでしょいか？



うう……
こんな……

動画の撮影に使われているのは
わたしの使っているスマホです。
生配信の告知が投稿されたのは
わたしのSNSアカウント。

SNSアカウントのフォロワーには
わたしが自分自身の意思で
こんな卑猥な自撮り動画を
公開しているように見えるのです。

そんなこと、するはずがないのに。

はみ出してるのが
はっきりわかる……

食い込みが……
激しすぎて……

わたしはエリート、上級国民です。
そこらの男が交際できるような
安い女ではありません。

だからエリートのわたしは
裏アカなんて作りません。

まして裏アカにアップするような
自撮りを公開するなんて論外です。

うう……誰が……
声を出すもんか……

そうやってわたしに
恥をかかせようとしてるの
わかってるんだから……

……蠅やウジ虫にたかられて承認欲求が満たされるような人間なんてどこにいますか？

性的な画像をアップしてどれほどイイネを稼いでもわたしにとってその価値は蠅やウジ虫にたかられる程度のものでしかありません。

だからわたしは絶対に自撮りなんてアップしません。

う……うう……

そんな風にパンツを前後左右に動かしたら食い込みが……割れ目に擦れて……

恥ずかしいところが見えますパンツからはみ出して……

なのにわたしのフォロワーには
わたしが好き好んでそういう動画を
公開するような女に見えるのです。

頭がおかしくなりそうです。
わたしはそんなことはしない。

わたしはこいつらに……
この異常者どもにハメられて
安い女に仕立て上げられただけ。

許せない。殺してやりたい。
今すぐ死刑にしてやりたい。

わたしによくも
こんな真似を……

痴漢をかばうこいつらは好き勝手なことをして
社会のために痴漢を未然に逮捕したわたしは
安い女、露出狂としてSNSで晒し者になっている。

それどころか……
誰かがこの動画を警察に通報したら
わたしが、わたしだけが、
公然猥褻で犯罪者になりかねない。

動画の撮影やアップロードに
使用されたのはわたしのスマホ。

それにわたしは警察には
できないことをしたのだから、
つまりわたしは警察の
ライバルにあたるのだから、

警察がわたしの味方をするとは限らない。

わたしは正しいことをしたのに
こいつらのせいで全て台無し。
こいつら全員今すぐこの場で
死刑にしてやりたい。

でも……

でも……

こんなことをされているのに
わたしは抗議の声の一つも
上げることができません。

抵抗して、怒らせて、
もっとひどいことをされたら。

考えただけで身がすくみ
声が出なくなるのです。

ただ、早鐘を打つ心音が
電車の走行音よりも
うるさく感じられて……

こんなことではいけないと
まるでわたしを急かすように
自己主張しています。

うう……

んんッ!!

ああ……
また声が……

ううん、そんな、そんなこと……
今は……どうだっていい……

少しくらい声を出したって
誰もわたしだと気付かない。

周りはみんなストーカー。
一般の乗客の目には
わたしの姿は見えない。

わたしが誰で何をされてるか
気づく人なんていないから……

—見えなければいい、わけではありません。
配信中の動画に音声が入ってしまったら……。

いや……嘘……
触られてる……

食い込んだパンツの上から
指で……触られてる……

……そんな大きな問題すらも
些細なことに思えるくらい
わたしは混乱していました。

電車の中なのに……
スマホで撮影されているのに……
わたし……まだ処女なのに……

触られてる……
知らない人に……

嫌……
こんな大きい指……

ぶよぶよしてて熱っぽくて
動き方がずうずうしくて……
何か別の生き物みたいで
すごく気持ち悪い……

こんな指で触られるなんて嫌。
こんな風に触られるなんて嫌。

ここは底辺のキモデブなんかが
触っていい場所じゃない。

エリートわたしに相応しい
特別なイケメンだけが
触らせてもらえる場所なの！

……

でも……

気持ちいい……

その触り方、気持ちいい……

パンツを上に引っ張られて……

恥ずかしい形がくつきりと

浮かび上がるくらい激しく

割れ目に食い込まされて……

うう……
もっと……

もっと……

はぁ

はぁ……

後ろから……

そう……そうやって……

コリコリクリクリ擦られて

爪を立てて引っかかれたり

手をぶるぶる動かされたら

わ……わたし……

自分でするより気持ちいい！

ダメ……こんな……
こんな場所でこんなことをされて
気持ち良くなるなんて……

撮影されてるのに……
気持ち良くなってる場所を
動画に撮られてるのに……

しかもただ単に動画を
撮影されてるだけじゃない。

身分証明書を公開されて
SNSのアカウントで
生中継されてるのに……

すごい……
なにこれ……

気持ちいい……
気持ち良すぎ……
わたし……

気持ち良すぎて我慢できない。
もっとしてほしくて仕方がない。

我慢しようと思っても
足に力が入っちゃって……
爪先立ちになっちゃって……

いけないってわかってるのに
もっとう気持ち良くなりたくて……
腰が勝手に動いちゃって……

息がどんどん荒くなって……
声が……出そうになって……

ダメ……
我慢しなきゃ……

撮影されてるんだから……
記録されてるんだから……

わたしのことが好きな人にも……
わたしのことが嫌いな人にも……

こうやって……
知らない人に卑猥なことをされて
気持ち良くなっている姿も
スカートの中の様子もみんな
見られてるんだから……

それに……
もしも……ごいつらに……
気付かれてしまったら……

気持ち良くなってることに
気付かれてしまったら……

我慢……しなきゃ……
何されるかわからない……

こんな奴らを
調子に乗らせるような
餌なんて与えたくない。

これ以上不利な立場に
立ちたくないから……
我慢……しなきゃ……

我慢……うう……

違う……違うの……
誤解しないで……

わたしの腰が動いてるのは
気持ちいいからじゃない。
気持ちいいところを触ってほしくて
腰を動かしてるわけじゃない。

これは電車の揺れのせい。
吊革も手すりも持たずに
立ってるんだから……

足だけでバランスを
取ってるんだから……

電車が揺れると腰が動くの
腰が勝手に動いちゃうの♡♡

気持ちいいからじゃない……
本当……ホントだから……
本当に……本当は……

気持ちいい♡

はぁ

はぁ

ビクッ

紐みたいになくなったパンツを
割れ目にきつく食い込まされて……

卑猥な形になった場所を
後ろからコリコリ擦られるの
すごくすごく気持ちいい♡

爪先立ちになっちゃうのも
腰を動かすのも我慢できない♡

クワッ

フツフツ♡
フツフツ♡

クワッ♡

クワッ

もっと……もっとして♡
もっと指を動かして……♡
そこ……もっと……♡
もっとして……♡

冒頭サンプルはここまでです。
続きは製品版でお楽しみください。

引き続き本文サンプルをご覧ください。
収録ページの内容に連続性はございません。

本サンプル収録ファイルの転載や再配布はご自由にどうぞ。
ブログやSNS等でご紹介いただけると嬉しいです。

いやあ……広げちゃダメ……
そんなとこ広げないで……
撮影されてる最中なのに……
みんな……見てるのに……

そんなに大きく広げられたら
日向千花の恥ずかしいところ
みんな……見えちゃうう！

パンツを食い込まされた割れ目……
そんな状態で後ろからクリクリ触られて
イキそうになってたいやらしいところ……

キモ男に二人がかりでいじられて
気持ち良くなつてた恥ずかしいところ……
隅々まで……見られちゃう……

嫌……こんな嫌あ……
こんな恥ずかしい状態のまま
おまんこ制裁されるなんて嫌……

こんなに大きく広げられたら
みんな……見られちゃう……

どこをどう触られてるのか……
どこを触られると気持ちいいのか……
どこをどうされたらイクのか……
みんな……見られちゃう……

お願い……カメラを向けなくて……
こんなところ……撮影して……
公開するのは犯罪なんだから……

大丈夫……大丈夫……
変な声を出さなければいいだけ……
痴漢を怒らせなければいいだけ……

少しくらい気持ち良くなっただって
変な声さえ出さなければ……
暴れたりしなれば……
何か漏らしたりしなれば……

くぽあ♡



声を出したり暴れたり
何か漏らしたりしなれば
周りにバレたりしないから。

騒ぎになるようなことをしなければ
痴漢だって怒ったりしないから……
無事に駅まで着けばいいだけ……
それまで我慢……我慢すれば……
大丈夫……だから……

わたしは痴漢でっち上げ女じゃない。
わたしは世のため人のために
未来の犯罪者を捕まえたエリート。

なのに……わたしのあそこは……
痴漢でっち上げ女として
扱われることを望んでいる。

世のため人のために生きるわたしを
痴漢でっち上げ女にしようとしている。

こんなのエリートマンコじゃない。
男にとって都合のいい『おまんこ』そのもの。

わたしのエリート処女マンコ♡
カメラの前で広げられて……
二人がかりでいじられて……
おまんこになっちゃった♡

ガッガッ

—イラッとしています。

金持ちの家に生まれただけ、テストで点が取れるだけの、頭も顔も性格もすべてが悪い、将来性のないクソブスどもが好き勝手なことばかり。

このまま痴漢の手でイキながら激しく喘いでイキ声を聞かせて思いつきり不快にさせてやりたい。

もしくは周囲のゴミオスに、あいつらがわたしをそそのかした痴漢でっち上げ女だと吹き込んでおまんこ制裁を受けさせて大恥をかかせてやりたい。

事件に巻き込まれて死んだ方が生きているよりもよほどましだと思わずにはいられないような惨めな人生にしてみたい—

だってわたしのおまんこの穴は
電車の中で二人の人に同時にいじられて
イキそうなくらい気持ち良くなってるの♡

ううん、穴だけじゃない……
別の人におまんこ広げられて
いやらしい汁を垂らしてるの♡

おまんこの穴をいじりやすくする
恥ずかしい汁を溢れさせてるの♡

一人用じゃなくて二人用の穴……
一人用じゃなくて三人用の場所……
それがわたしのおまんこなの♡

一人よりも大勢の人に
使われる方が気持ちいいって
おまんこが認めちゃってるの♡

お願い……もっ……もっ……もっ……
もっ……もっ……と激しく……
おまんこ制裁……して♡

はるる♡
はるる♡
はるる♡

んはま♡

わたしの恥ずかしいおまんこ♡
広げられて晒し者になってるのに
二人がかりでグチュグチュされて
イキそうになってる淫乱おまんこ♡

みんなが見てるカメラの前で
犯罪者の薄汚い指を二人分
啜え込んでヒクヒクしながら
おまんこ汁を垂れ流してる
欠陥品の変態淫乱おまんこ♡

そんな悪いおまんこに
もっとおまんこ制裁して♡

おまんこイクとこみんなに見せて♡
ぐちよぐちよになった変態おまんこ
もっとおまんこ制裁して♡

腰を前後に動かしながら
わたしは思います――

おまんこももっと気持ち良くなりたい。
このままイクまでしてほしい。
おまんこイクとごみんなに見せて。

頭の中はそんなことばかり。

この卑劣な性犯罪者どもに
おまんこの秘密を知られることや
イツたあとのことなんて
おまんこの気持ち良さに比べれば
本当に些細なことでした。

ああ……すい……

そこ……

そこも……

逃げられない——

……そう思った瞬間、
おまんこが壊れそうなくらい
気持ち良くなりました。

おまんこ制裁を受けているのは
聖マルガリータ女学院の日向千花。

動画に映った生徒手帳の
持ち主の日向千花……
つまりわたしのおまんこの
イク瞬間が生配信される。

合成だとか別人だとか
そんな言い訳は通らない。

動画を見た人はみんな……
画面に映っているおまんこは
日向千花のものだと断定する。
わたしのおまんこだと断定する。
そしてその動画は永遠に残る。

……そう認識した途端、
わたしの体は弓なりに仰け反り
激しく痙攣し始めました。

見て……みんな見て……
わたし……今……
おまんこ制裁受けてるの♡

いやらしくて恥ずかしい
おまんこ制裁を受けながら
わたしのおまんこイッてるの♡

みんなにもよく見えるように
痴漢が指でわたしのおまんこ
大きく広げてくれてるから……

お願い……見て……
みんな見て……♡

わたしのおまんこみんな見て♡
気持ち良くなってヒクヒクして
イッてるおまんこみんな見て♡